

なぜこの企画を？

長年続いた「調布よさこい」は、「ちょうふ彩咲祭」へとリニューアルし、年齢や国籍、障がいの有無に関わらず、誰もが笑顔で楽しめるインクルーシブな場（祭り）を目指すことになりました。



今回「ちょうふ彩咲祭」で共生社会の充実を掲げることは、調布市の総合計画に言う共生社会の充実「多様性を認め合い、安心して自分らしく暮らせるために」という基本目標にも合致しています。

2025年は市制施行70周年の節目の年でもあり、共生社会の充実・促進を図るために、居場所を知ってもらう企画としてスタンプラリーを実施します。



猿田彦珈琲株式会社 代表取締役 大塚朝之さんからのメッセージ



僕の生まれ故郷である調布市でこんなに素晴らしい取り組みをされていると知り、これはもう応援するしかない！と、協賛を決めさせていただきました。

猿田彦珈琲は、誰でも気軽に立ち寄れて美味しいコーヒーを楽しめる場所です。そして、今を生きるのに少し苦しいなと思うような方が逃避できる場所にもなれるよう願っております。

皆さまにとっての「安らぐ場所」だったり、「アイデアが湧いてくる場所」になれるならコーヒー屋としてこれ以上の本望はありません。ぜひスタンプラリーに参加いただき、お気軽なお立ち寄りください。

「ひとつやねっと」ってなに？

「ひとつやねっと」は、調布・狛江の周辺エリアで主に一軒家を地域にひらいた場づくりに取り組む市民のネットワークです。ひとつひとつの場は、「みんなの居場所」と呼ばれたり、「まちの縁側」や「まちのお茶の間」と呼ばれたりしてそれぞれの特色がありますが、共通しているのは、ひとつ屋根の下で、誰でもいつでも気軽に立ち寄れる地域の居場所であること。

「地域の居場所」とは、家でも学校や職場でもない「第三の居場所（サードプレイス）」として、誰もがホッとひと時羽を休め、そして他の誰かとゆるやかにつながり合うことのできる、そんな場所です。たくさんのカタチの居場所が地域にあって、誰もが自分の居心地の良い場所を見つけられること。そのことが共生社会への小さくとも確かな一歩であることを信じて、それぞれの居場所は今日も地域にひらかれています。

ひとつやねっと

誰でもいつでも気軽に立ち寄れる

調布市・狛江市の6つの居場所をめぐる

居場所スタンプラリー



スタンプラリーが完成したら猿田彦珈琲京王線沿線店舗ですてきな商品がもらえます！

1 トビバコ

調布市飛田給3-25-30
<https://tobibako.minglelingo.art/>



調布市・公立女子大学との産官学プロジェクトとして、2023年7月に空き家を活用し誕生した「飛田給の箱」。みんなのチャレンジを応援する場所として2年ごとにテーマを変えている。第2段は「クリエイティブ・ラボの階」を掲げ、子供も大人もものづくりを楽しむ場となるよう、シェア工房・コワーキングスペースを併設。五味太郎の絵本だけを集めた「五味部屋」がある。

2 ふふ富士見

調布市富士見町4-24-28
<https://www.fufufujimi.org/>



誰もが気軽に立ち寄れて交流ができる集いの場、地域とつながり自分らしく安心して過ごすことができる通える居場所を目指して2023年春オープン。健康体操や週1回のパン販売、ランチ会、歌声サロン、切手整理活動ボランティアなど、日々、様々なレクリエーションを開催。

3 しばさき 彩ステーション

調布市柴崎1-64-9
<http://irodori-station.net/>



2019年7月に設立された、0才から100才まで誰もが立ち寄れる多世代の居場所。ご飯を共にしたり、歌や外国語を教え合ったり、お茶を飲んで過ごしたりと、自然に関わり合える空間。小さな力を持ち寄って共有して、大きなチカラにかえていく～そんな元気な居場所！100人以上の子ども達が集う子ども食堂も毎月開催中！

STAMP RALLY

居場所スタンプラリー

スタンプラリーが完成したら
猿田彦珈琲京王線沿線4店舗で
すてきな商品がもらえます！

交換できる景品(①～③のうちどれか1点)



①コーヒー1杯



②アイスクリーム



③ドリップバッグ3枚

※一部対象外の商品がございますので、ご了承ください。

対象店舗

- 調布焙煎ホール
- アトリエ仙川
- 下北沢
- 猿田彦珈琲とティキタカアイスクリームのお店(新宿ルミネ1 1F)

引き換え期限 2026年3月31日

引換済印



SARUTAHIKO COFFEE

「たった一杯で幸せになるコーヒー屋」をコンセプトに掲げる東京・恵比寿発のスペシャルティコーヒー専門店。自社で厳選した高品質で風味豊かなコーヒー豆で焙煎から抽出までこだわり抜いた一杯を提供します。



調布焙煎ホール



アトリエ仙川

4 POSTO

調布市仙川町1-19-10
https://bit.ly/sengawa_posto



2021年3月、仙川駅徒歩1分の郵便局向かいにオープン。「屋根のある広場」として機能することを目指し、赤ちゃんから高齢者まで、たくさんの人が気ままに使っている。カフェっぽいメニューはあるが、注文の義務はない。

5 野川のえんがわ こまち

狛江市西野川2-31-1
<https://nogawa.comarch.tokyo/>



狛江市西野川で2020年6月から活動をスタート。誰でもいつでもふらりと立ち寄れる「まちの縁側」を目指して、10年ほど空き家になっていた築50年の一軒家を地域に開放している。

6 ふらっとなんぶ

狛江市駒井町3-7-1
https://bit.ly/flat_nanbu



2023年3月、それまで居場所の乏しかった狛江市南部エリアにおいて、誰もが「ふらっと」集える「南部」の交流拠点として誕生。行政と地域が協働して実現した、多世代多機能型の新しい地域の居場所である。